

医療安全管理部

医療安全管理部では、当院における医療安全を推進し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立するために組織横断的な安全管理活動を担っています。

【医療安全管理部のメンバー】

医療安全管理部長（副院長）	： 1 名
医療安全管理者（専従）	： 1 名
医師	： 2 名
薬剤師	： 1 名
看護師	： 2 名
診療放射線技師	： 1 名
事務員	： 2 名
臨床工学技士	： 1 名
患者相談窓口担当者	： 1 名

医療安全管理のための基本的考え方

医療安全は、医療の質に係る重要な課題で、安全な医療提供は医療の基本となるべきものである。また、医療安全の必要性・重要性を各部署及び職員一人ひとりが自分自身の課題として取り組んでいくことが重要である。そのために、当院の医療安全の基本である医療安全管理指針に基づき、医療安全管理体制の強化充実を図るものとする。

医療安全管理部の活動内容

医療安全管理体制の整備

1. 医療安全管理部の設置
2. 医療安全管理委員会の設置
3. セーフティマネジメント部会の設置
4. セーフティマネジャーの配置
各診療科・診療協力部門・各看護単位・事務部門に各1名配置
5. 患者相談窓口の設置

医療安全管理のための具体的方策

1. 報告体制の整備
インシデント・アクシデント報告
死亡・死産の報告
2. インシデント・アクシデント発生時の対応
3. 重大アクシデント発生時の対応
4. 医療安全ラウンド
5. 職員への教育研修
6. 啓発・広報
7. マニュアルの作成及び点検、見直し
8. 医療安全安全連絡会の開催
9. 患者相談窓口カンファレンス
10. 近隣医療施設との医療安全に関する相互評価



セーフティマネジメント部会



教育研修

医療安全管理部の活動内容

患者さんにも医療安全にご協力していただいております。

患者さんへのお願い

患者間違い防止にご協力をいただいております

あなたのお名前と
生年月日をお伝えください

診察の時

検査の時

配薬の時

注射の時

手術の時

医療安全管理室

安全な入院生活のために

靴の選択 こちらを推奨しています



危険なため
お勧めしていません



スリッパ

クロックス

入院中の持ち込みを制限させていただきます



包丁・ナイフ



カッター



カミソリ



ハサミ

その他、鋭利なもの

ご不明なことがありましたら、看護師へお尋ねください。

医療安全管理室

転倒防止マップ

各病室に設置されている動くものに
つかまって立ち上がらないように
注意してください

ベッドから立ち上がる際は、両足をしっかり床につけて
立ちあがりましょう

車椅子乗車中は深く腰掛け、足台に足を乗せましょう
背もたれに体重をかけすぎないようにしましょう
立ち上がる際は、足台を上げて降りましょう

各病室のトイレドアは
引き戸になっております
開閉時注意しましょう

エレベーター入口
に危険があります
つまづかないよう
に注意しましょう

リハビリ用の歩行
訓練バーがあり
ます
スリッパがはけない
時は使用を控えて
ください

特設室・シャワー
室は滑れやすい
ので

廊下に車椅子など
設置されていま
す
注意して行きま
しょう



803・807・808号室の
車椅子・トイレ移動時は転倒しや
いので、介助のいる方は転倒に
注意してください



805・806号室入口に段差があり
つまづかないように注意しまし
ょう

医療安全管理室

病棟内の転倒しやすい
場所をマップで表示し、
患者さんと一緒に転倒
予防を行っていきます。

医療安全管理部の活動内容

患者相談窓口のご案内

患者さんやご家族が安心して治療に専念できるよう、病気やケガから生じる不安や悩みについて一緒に考え、解決していくお手伝いをさせていただきます。

相談時間 月～金曜日（祝祭日を除く）8：30～16：45

相談場所 本館1階 Aブース 眼科外来横

対応者 看護師

相談内容

- ・ 病気療養上の不安や悩み
- ・ 治療費に関すること
- ・ がんに関すること
- ・ 社会福祉制度や生活費など経済的問題
- ・ 職員の行為や態度に関すること
- ・ 苦情やご意見
- ・ その他

面談や電話で相談をお受けします。

相談内容については秘密を厳守します。

相談により不利益を受けることはありません。

